

日積小学校児童が「シイタケのコマ打ち」を体験しました！

令和4年2月25日（金曜日）に、柳井市立日積小学校において、3～4年生9人が森林体験学習として「シイタケのコマ打ち」を体験しました。

これは、次代を担う子どもたちに、ふるさとの森林の大切さや林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうことを目的に、林業研究グループ「柳井ふれあい森の会」（会長 山重義則）が実施したものです。

はじめに、柳井ふれあい森の会の山重会長から、健全な森林が豊かな海をつくっていることや森林を明るく元気にするためには、人が木を切るなどの手入れをしてあげる必要があること、森林にはキノコや山菜をはじめいろいろな恵みがあること等の話があった後、3班に分かれて、シイタケのコマ打ち体験を実施しました。

児童は、柳井ふれあい森の会の会員の指導を受けながら、電動ドリルでクヌギの原木に穴を開け、シイタケの種ゴマを木づちを使って打ち込んでいきました。

初めて使う道具に戸惑いながらもとても熱心に取り組み、椎茸の収穫を楽しみにして森林体験学習を終えました。

柳井ふれあい森の会では、今後もこのような森林体験学習を通じて、子どもたちに森林・林業に親しむ心を育てていく活動を続けていくこととしています。



シイタケ栽培講義



電動ドリルで穴開け